

奄美市医療懇話会「開業医アンケート」集計結果・事務局分析

1. アンケートの目的

奄美市における持続可能な医療のあり方について議論する奄美市医療懇話会における議論を深めるため、奄美市内開業医が感じる課題や将来のお考えについてアンケートを行った。

2. アンケート実施期間及び実施方法

- (1) 実施期間 令和8年2月5日（金）～2月23日（月・祝）（19日間）
- (2) 実施方法 アンケート用紙を市内開業医に郵送配布
- (3) 回答方法 WEB 又は郵送回答

3. 回答結果

アンケート回答数 15人（配付数：21 アンケート回収率：71.4%）

4. アンケート集計結果：別紙のとおり

5. アンケートから見てきたこと

「奄美市内開業医における高年齢化は、今後、さらに進展する見込み」

- ・今回のアンケート回答者の69.2%が60代以上
- ・回答者における40代・50代の構成を見ると、今後10年間で奄美市の開業医の9割以上が60歳以上となる見込み

「情報発信の脆弱性が懸念、診療所の強みが市民に届いているかの分析が必要」

- ・各診療所においては、診療日や予約の必要等について、できる限り柔軟な対応を確保
- ・子育て世代から不安の声が大きい「小児科」不足についても、市内4診療所で対応
- ・一方、独自HPを有する診療所は回答者の60.0%に留まるほか、SNS活用等の情報発信はほとんど取り組まれていない状態
- ・現在の市民ニーズに適用しているかの、さらなる分析が必要

「診療所の持続的な継続に対しては色濃い不透明感」

- ・各診療所においては、外来・訪問診療のみならず、予防接種や学校医・産業医といった、社会を支える重要な役割を担っていただいている。
- ・回答いただいた方の78.6%の方々が、地域に欠かすことができない医療機関としてのやりがいを感じている
- ・一方、既に後継者候補をお持ちの方は回答者の20.6%に留まり、多くの診療所においては将来的な維持の不透明感を有している。
- ・後継者確保についての相談先の確保や承継の際の条件整理等、様々な不安を抱えており、専門的なサポートについて要精査。